

生徒の実態

- 物事を深く思考することが苦手
- 自分の考えを他者に分かりやすく示すことが苦手

目指す生徒像

自分自身の意見を形成し、他者へ伝えることのできる生徒

考えの整理のためのワークシートの活用



4 伝える

役割を与えることで、主体的に取り組み他者の意見を理解することにつながる。

2 気付き

他者の意見から様々な考えを知ることができ、新たな視点の発見につながる。

個人

グループ

1 考え

例示や既習事項を振り返ることで、考えが曖昧な生徒も考えを書き出すことができる。

3 再考

グループ活動での気付きから自分の考えを見直し、意見を形成することができる。



13班
田子芝を刈りた
伝功
一条
例: 聞き逃しを防ぎ共通した認識を持たせる

共有化・可視化のためのホワイトボードの活用

《成果》

- ・個人活動とグループ活動を交互に行うことで、自分自身の考えに気付きが見られ、新たな意見を導き出すことができた。
- ・自分の意見をまとめることが苦手な生徒も意見を書き出すことができた。

《課題》

- ・興味・関心を引き出させる支援により、いかに自分のこととして捉えさせるかが課題である。
- ・グループワークにおいて、気付きや新たな考え方をワークシートに整理できていない生徒がいたことからワークシートまとめる時間を設定する必要がある。